

一神教・聖俗分離・欲望文明メカニズムに冒された 自律型「和魂洋才」哲学を失い迷走する日本の危機

2009.7.7 園山

1868年明治開国「和魂洋才」哲学による近代化から140年、世界の先進国に伍して、世界の経済大国の地位を得た日本は、今、大原則としてきた「和魂洋才」哲学が行き詰まり、国家の再生軸が定まらないまま迷走し、脳死状態に陥っている。

その最大の原因は、一神教先進国がもたらしたあまりにも激しすぎる「聖俗分離原発型洋才メカニズム」……軍事原爆(1945年)と、グローバル化によって一気に拡大した経済欲望原発ともいえる証券市場原理主義の暴発(1980～)にある。

この二つの原爆連鎖反応原発型メカニズムに直撃された日本は、その副作用である原爆放射能を全身に浴び、国家を束ねる「自律型和魂洋才メカニズム」そのものがメルトダウンし、清朝末期の阿片戦争に苦しんだ昔の中国(1840年)のように歴史・記憶を失い、今日にだけに生きる阿片汚染国となって迷走し始めている。

今の日本にとって、この多神教楽園国家日本の「和魂洋才」メカニズムを脅かす一神教、聖俗分離、欲望文明メカニズムの正体を学ばずして、日本の再生はありえない。

1. 日本に襲いかかる聖俗分離一神教原爆連鎖反応型洋才メカニズムの本質……父殺し、神殺しを越えてまで解明したい宇宙の真理追及意欲の激しさと放射能公害副作用の発生にある。

聖俗分離一神教社会(キリスト教、ユダヤ教…)では、俗を許さないイスラム社会とは違って、教義の拡大のためには聖なる教義からずれ易い現実の社会の欲望……「欲望と科学」の発展を是認はするが、その「俗」の暴発を防ぐ

ための厳しい神の掟(……モーゼの十戒、アダムスミスの神の見えざる手…)を堅持し、一神教原発連鎖反応拡大メカニズムの暴発を制御しながら発展を続けてきた。

この「俗」の爆発力が具体化したのが証券・金融連鎖反応によって暴発したアメリカ型大恐慌(1929年)であり、究極の武器と言われる「軍事原爆」の発明(1945年)であり、さらにはグローバル化を機に一気に暴発した「証券市場経済連鎖反応原理主義メカニズム」(1990以降)であり、2008年に至り地球環境の汚染の壁に達して、ようやく見直される時を迎えた。

2. 「和魂洋才」哲学のままで一神教聖俗分離欲望文明に接して日本の得たもの、失ったものは何か

日本は、明治開国以来勤勉さと技術力で一気に世界の先進国となり、「豊かな物質経済楽園」を築いた代償として、大きな「精神障害」を残してしまった。

それは、明治開国以来日本のリーダー達が日本流の水車型和魂洋才システムに依存し過ぎて、一神教聖俗分離原発型金融・証券・資本市場メカニズムの良いとこ取りだけに溺れている間に、欲望原爆放射能によって政治、経済、教育、社会……国家全体が汚染され、本丸機能が崩壊し、簡単には立ち直れないほど大きな頭脳障害を受けてしまったことにある。

- (1) 歩兵力だけでは勝てなかった空軍原爆力敗戦 1945年
- (2) 村社会管理不正排除法では止められなかった土地・金融・資産嵩上げバブルと崩壊 1980年～
- (3) グライダー型村の天守閣国防軍では防げなかった宇宙・エンジン・空売り・speculation型国際資本市場競争破壊メカニズム圧力 1990年～
- (4) チェルノブイリ放射能解毒対応策が分からないままヒト・モノ・カネ メカニ

ズムが汚染し、立ちすくみ、うずくまる物質文明被爆社会……遺伝子退化の危機

(5) トバシの限界まで追いつめられた他力依存国家

3. 天動説型国家中枢機能の崩壊

そして、この放射能汚染の嵐は、とうとう国家の中枢機能にまで及び始めた。

- ・ 思考停止に陥った村長・組合長集団 …… 永田町
- ・ 過去の記録を消して責任を逃れる霞ヶ関 …… 行政
- ・ 幻の富となりつつある金融・資産システム
- ・ その日暮らしに追い込まれる財政・経済
- ・ 生きる目標を失ってさ迷う若者、教育遺伝子
- ・ 断片情報を売り、煽って生きるだけの学術、情報機能 ……

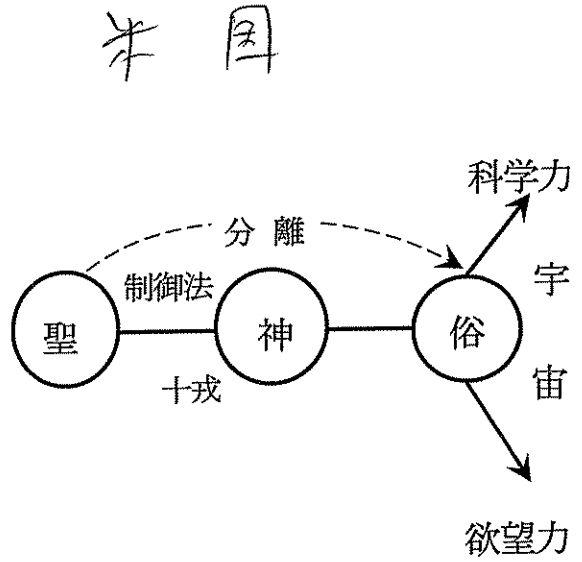
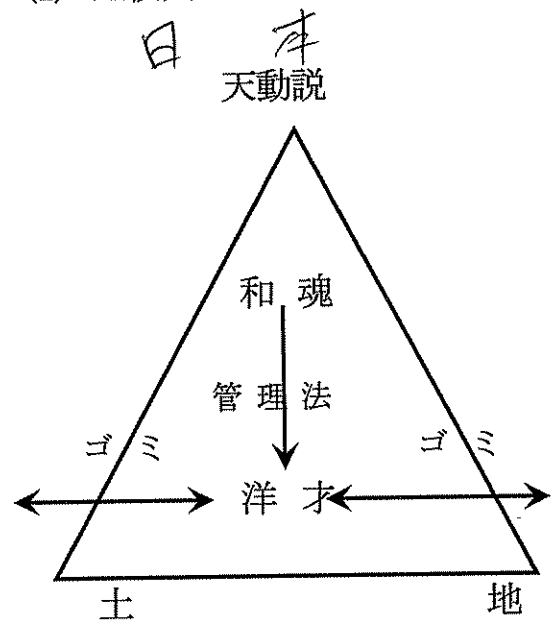
明治開国以来手足の国際化順応に成功してきた日本は、いよいよ人頼みとトバシに頼ってバラバラに生きてきた自らの天然頭脳力を、国際化・自律化しなければ生きていけない時を迎えている。

世界は哲学を軸にした人工頭脳化が進んでいるからである。

何時までも天動説本丸機能のまま、接木、良いところ取りと調整手法だけでは21世紀は乗り越えられなくなってきたのである。

4. 和魂洋才と聖俗分離社会・経済メカニズムの違い

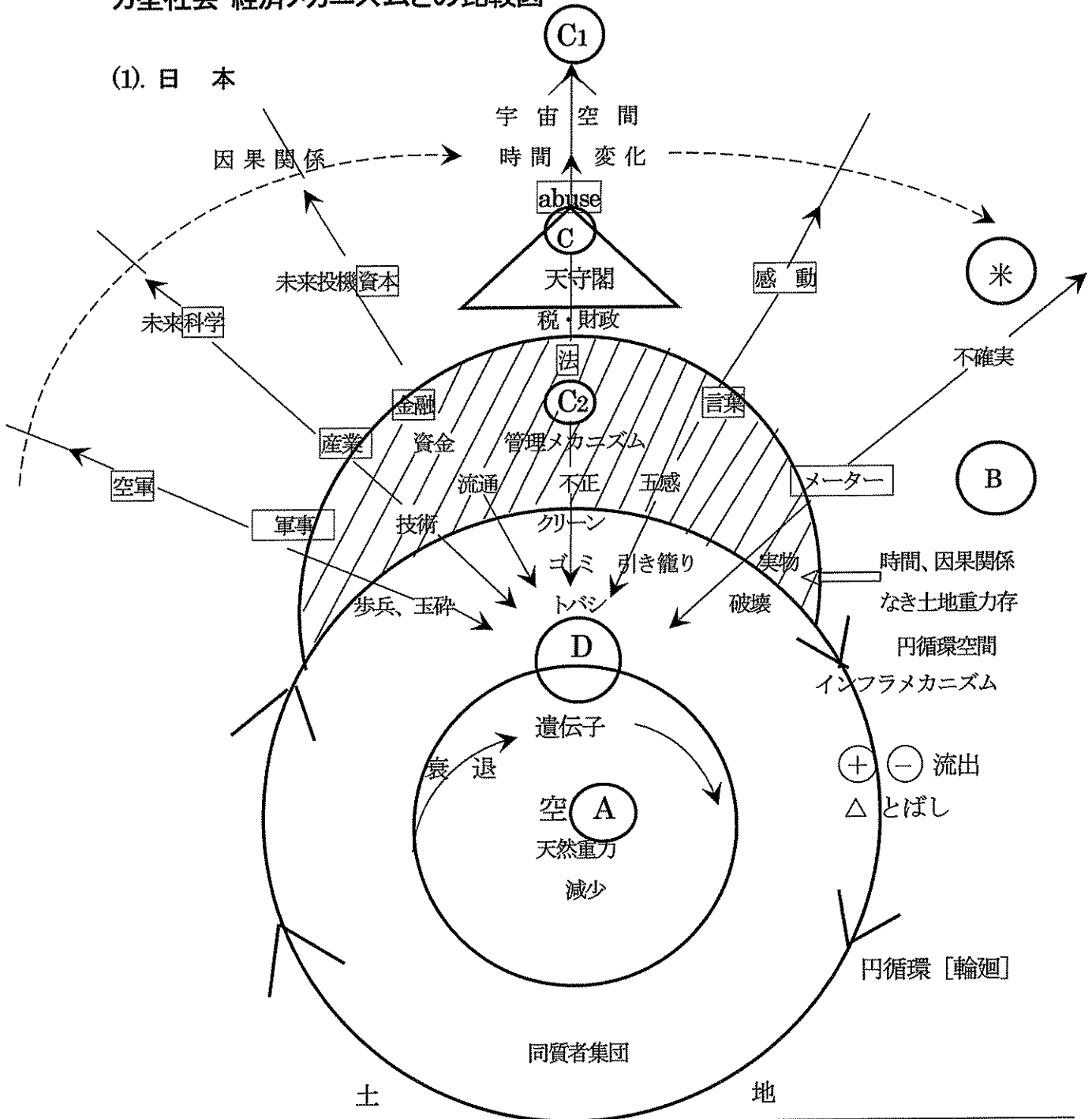
(1) 比較図 A



(2) 比較図 B

天然重力依存中空円循環・因果関係希薄多神教日本型社会・経済メカニズムと、人工推進・制御遠心力活用因果関係解明投資循環拡大指向一神教アメリカ型社会・経済メカニズムとの比較図

(1). 日本

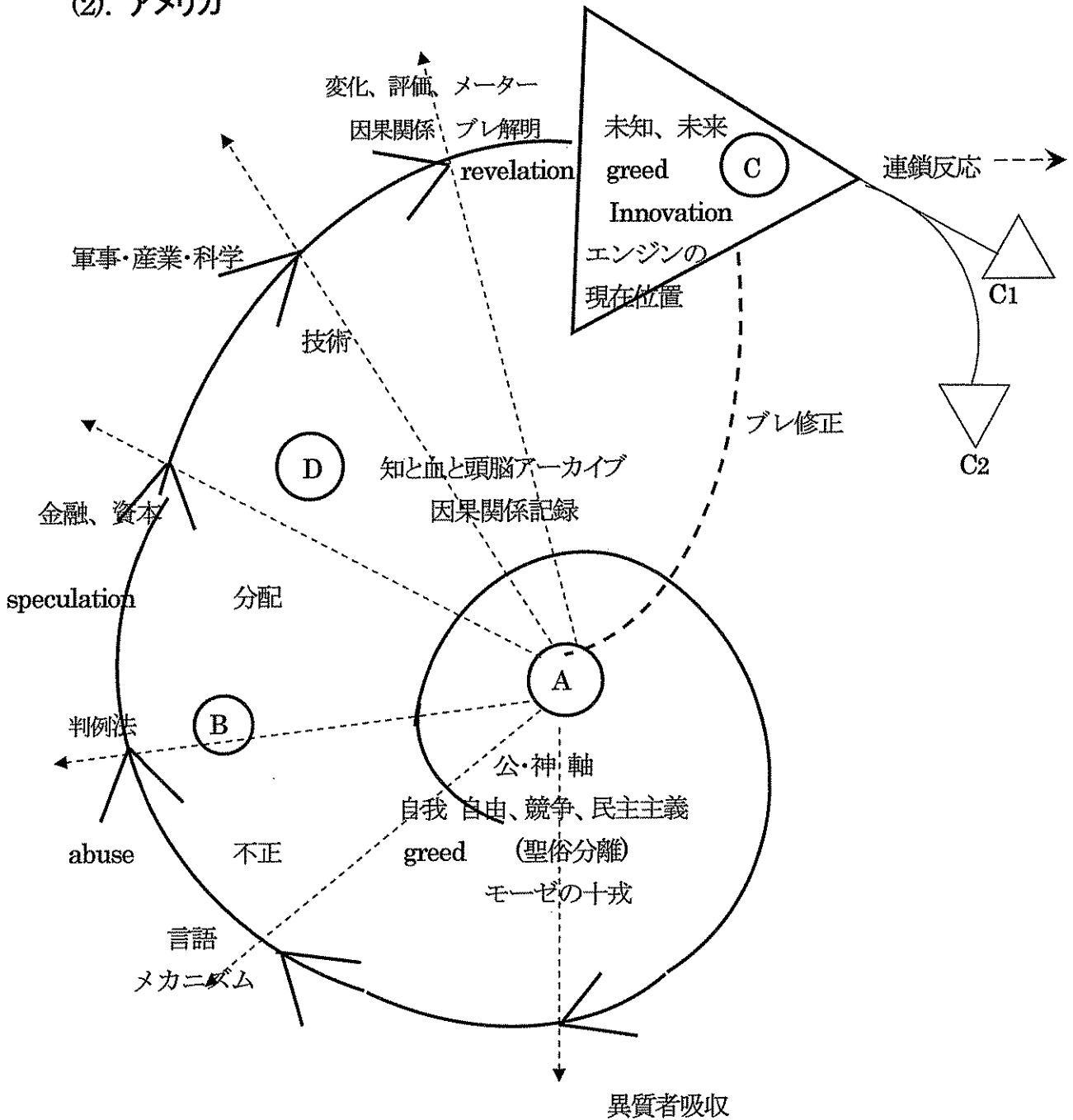


①A を軸にした ①B 天然重力依存水車型インフラメカニズム
開国・軍事・産業・金融・法・言語・メーターで一時的変化に対応する因果
関係のない風任せグライダー調整、円循環持続、インフラメカニズム
……封じ込められている投資循環拡大メカニズム

①C → ①C1 ①C2 現在の天守閣の位置（税・財政）

①D 天然重力空間内のトータル膨張と収縮のあとデフレ・とばし・汚染・衰退
（知、血、頭脳、遺伝子力退化）……因果関係記録のない脳死空間

(2). アメリカ



- ① 自我、自由、競争、民主主義を公とする神を中心軸に
- ② 人工推進・制御遠心力原発型連鎖反応活用インフラメカニズム

・ 軍事・産業・科学・金融・資本・法・言語……自然科学、社会科学一体変化・エンジン出力・因果関係解明評価 revelation

③ → ④⑤ 人工遠心力活用投資循環拡大メカニズムの現在・未来位置

⑥ 拡大メカニズムの推進・暴発、失速のブレとなる⑦⑧⑨の歴史的相互因果関係記録＝頭脳インフラアーカイブ……知＋血＋頭脳アーカイブ

⑦⑧⑨⑥ ……歴史的な全頭脳情報を活用し、暴発・失速のブレを解明・修正するメカニズム

(3) 日・米メカニズムの構造的ギャップ

	日	米
・全体の作り	グライダー 風任せ円循環メカニズム	エンジン力活用 投資循環拡大メカニズム
・中心軸	天地 空 無我	欲望 自我 公
・エネルギー源	天然重力(水)	人工推進力 (血・知)
・制御方法	地上天守閣管理法 血縁関係・性善説依存	宗教的戒律→NASA 制御 ・regulation
・記憶装置	嫌なことは忘れて水 に流す楽園国家には記 録すべき歴史そのものがない	後世に伝えるために残すべき 欲望と復讐・戦争と平和の宗教 ・哲学・学術的因果関係記録
・ブレ修正 メカニズム	極限までトバシ 中心軸(空)の膨張と 収縮で調整	中心軸からのブレ修正のための 「revelation」原因解明メカニ ズム……1934年アメリカ「ペコラ 委員会」ほか

5. 日本の生きる道

- (1) 自律……国際アヘン戦争からの脱出 …… 血と知の復活
- (2) 歴史的因果関係の解明 …… 自律国家再生の道作り
- (3) 日本の武器 …… 和魂洋才で作りに上げた技術力の活用

(参考)

世界と日本を救う賢人の教え

1. 文字の間屋、飯を喰う字引と化した外来語をつまみ喰いする翻訳
学術が国を滅ぼす
信に過ぎず疑に過ぎず本物の真疑を判断できる幅広い頭能力が求められるのに「信」だけ「疑」だけ煽るバラバラに偏った学術
福沢諭吉 (1879 年学問のすゝめ)
2. 米ペコラ委員会レポート(1934 年)
 - ・アメリカ大恐慌の原因は、不正蔓延より競争メカニズムの abuse(乱用)にある
 - ・revelation 原因解明あつてこそ国家再生ができてリッチになれる
3. 産業・金融一体メカニズムで大恐慌から国家を再生させた米国と、マルクス・孫子・ユダヤ一体の頭脳競争哲学力を生かし始めた中国の底力
呉 天降 (アメリカ大恐慌ペコラ委員会解説と改革開放後の北京大学の指導者 —1970 年～)
4. 日本のバブル崩壊直前(1989 年 9 月)に金融バランスシートの肥大が大恐慌の原因であると喝破し、アメリカ型市場経済学ノーベル賞をインチキと断じた日本の識者
関岡正弘(大恐慌の謎の経済学)
5. 論ずべき本物の agenda(自律国家論)を忘れて原発型証券市場メカニズムに素手で立ち向かう、平和呆け楽天国家日本の危機
元参議院議員 椎名素夫 (2000 年、2004 年 参議院議事録)
6. 唯物論弁証法哲学で 100 万頭企業養豚ベンチャーを成功させた企業家が語るタテ社会規制依存国家日本の危機……毎日洗い替えが出来るか否かが鍵
曾我達夫 (哲学の奨め、新資本主義論 ほか…2000 年)